平成３１年度　　学校経営方針　　京都市立山ノ内小学校

学校教育目標　「自ら気づき，考え，ともに生きる子どもの育成」

目指す子ども像「くすのき」

「**く**じけずしなやかな子ども」（思考力・自己効力感）…しなやかに適応し心のおれない子ども
「**す**すんで学ぶ子ども」（意欲・主体性）…主体的に学習を進める子ども
「**の**んびりと共に活動する子ども」（協力・思いやり）…穏やかに共に認め合う子ども
「**き**まりを守る子ども」（規律・規範）…自律し，規律ある行動ができる子ども

学校経営方針

１　一人一人を徹底的に大切にし，子どもが安全で安心して過ごせる学校づくりを進める。
２　基礎・基本を習得させるとともに，子どもが主体的に考える授業づくりを進める。
３　一人一人のちがいを認め合い，共に生きることの大切さを学ぶ学級づくりを進める。
４　家庭・地域との連携を図り，地域ぐるみの学校づくりを進める。

取組の重点

１　一人一人を徹底的に大切にし，子どもが安全で安心して過ごせる学校づくり

・子どもの命，心と体を守り育む意識を高くもち，心と体を大切にする子どもを育てる。
・人権についての認識を深め，違いを認めいじめを許さない意識と態度を育てる取組を充実する。
・道徳教育，特別活動，総合的な学習の時間等の様々な体験活動を通して，生命尊重，感謝の心等人と人との絆の大切さを実感し規律ある生活習慣やきまりを守る態度を育成する。
「み」…身支度を心がける（準備・心構え），「そ」…掃除を頑張る（協力・責任），
「あ」…あいさつをする（コミュニケーション），「じ」…時間を守る（約束・きまり）
「あ」…朝ごはん，「は」…早ね，「は」…早起き　　「みそあじ　あはは」の実践

２　基礎・基本の習得と子どもが主体的に学ぶ授業づくり

・読書活動や計算・語彙など学力の基盤となる力を確かなものにする取組の充実を図る。
・すべての教科において，授業導入時のめあて・見通しの確認や，終盤のまとめと振り返りがいつも適切であるかを省察し，子ども同士の学び合いを充実させ学びの質を高める。
・主体的・対話的で深い学びを重視した授業を通して，「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」が実感できる授業づくりを進める。その中で学校図書館の効果的な活用も工夫する。
・体育科の研究を通して，運動特性に浸らせ，自らこころとからだの変化に気づき，生涯にわたって運動やスポーツに親しみ，健康で安全な生活を送ろうとする子どもを育てる。
・子ども自らが予習・復習を意識して課題を選択し，家庭学習と連動して自学自習の習慣化を図る。

３　一人一人のちがいを認め合い，共に生きることの大切さを学ぶ学級づくり

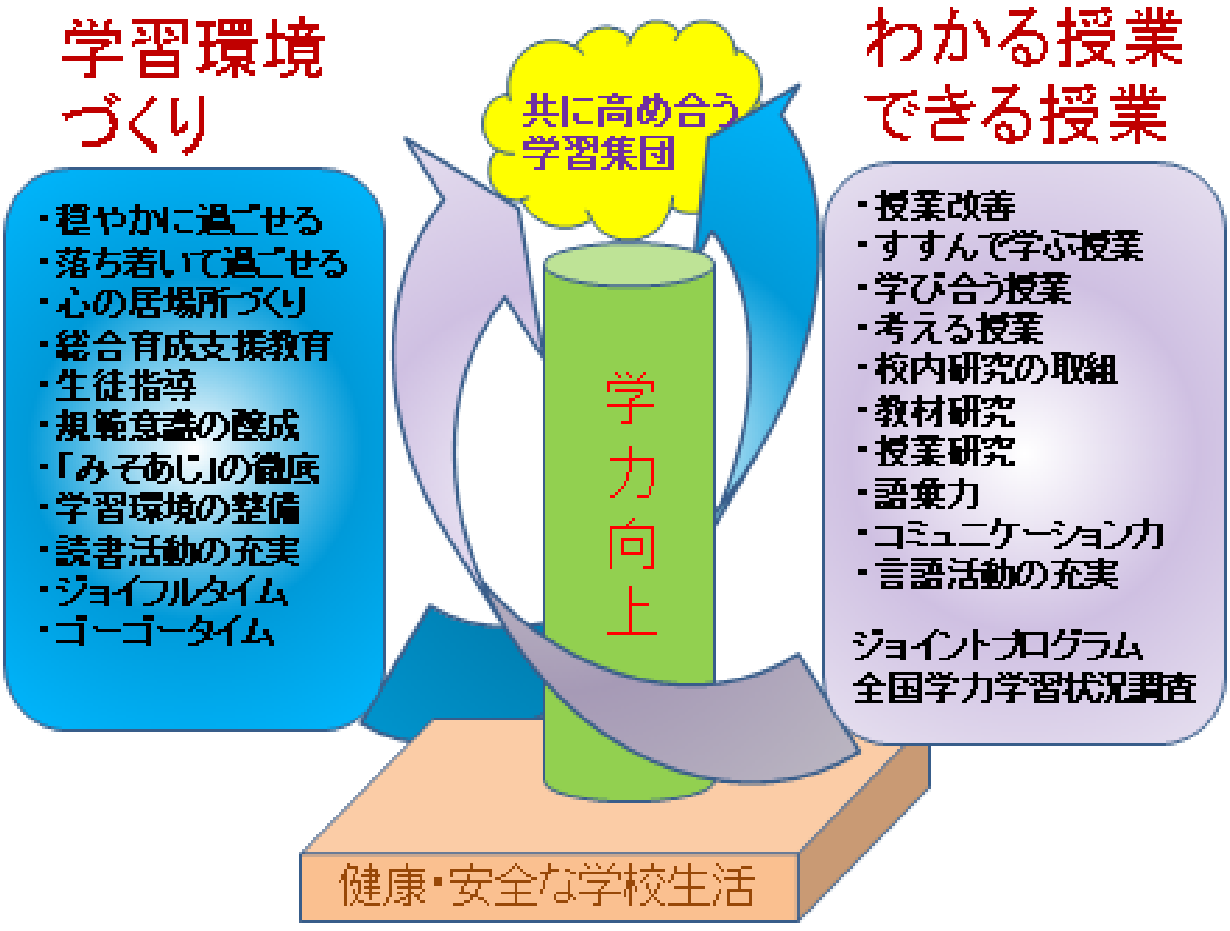
・自尊感情を高める取組の中で，互いに認め合い高め合う集団と子ども同士の絆づくりを支援する。
・すべての子どもにとってわかりやすい授業づくりや過ごしやすい学校・学級づくりを進める。（ユニバーサルデザイン化）
・校内委員会を通して，ＬＤ等通級教室担当者，関係機関との連携を密にし，一人一人の教育的ニーズを把握し，支援の方法や個に応じた指導の工夫等，人権を保障する視点で取組を進める。

４　地域ぐるみの学校づくり

・学校運営協議会を中核として，ボランティア組織と一体となった学校運営を推進する。
・「社会に開かれた教育課程」の下，地域との協力体制を深め，感謝する心，自ら律する力を育てる。
・地域行事に積極的に参加し，地域への愛着と地域の一員としての役割，人と人との絆の大切さを自覚できよう，家庭・地域と協働の取組を進める。

＜目指す教職員像＞

・目標を共有し，組織的に取り組む教職員
・子どもに寄り添い，保護者・地域と共に歩む教職員
・授業の改善と指導力の向上の意欲をもち，実践し行動する教職員
・ワークライフバランスを保ち，健康を大切にして仕事をする教職員

＜目指す学校像＞

・笑顔で過ごせる学校
・安心，安全で健康な学校生活が送れる学校
・整理整頓が行き届き，学ぶ環境が整った学校
・一人一人に届く授業で，子どもの力を伸ばす学校